



当社は、東通原子力発電所1号機の再稼働を目指し、原子力規制委員会による新規制基準適合性審査に適切に対応するとともに、所員一丸となって安全対策工事や設備の保守管理に取り組んでいます。

運転停止の状態が続く中、現在、発電所では、どのような業務を行っているのか、所員の日常をシリーズで紹介しております。6回目の今回は、防災課の多田悠太です。

プロフィール

防災課
多田 悠太 (ただ ゆうた)



岩手県盛岡市出身。2016年入社。
東日本大震災を経験し、生活に欠かすことのできない電力の大切さを実感し、「生まれ育った東北を電力の安定供給で支えたい!」との思いを抱き入社。趣味はドライブ・料理。得意料理は唐揚げ。スポーツも好きで学生時代はテニス部に所属。

現在、どのような業務を担当していますか。

発電所の火災防護を担当しています。具体的には、火災を未然防止するための啓発や、消火設備の点検、消火活動を円滑・迅速に行うための体制づくりを担当しています。

今日は、どのような業務を行ったのですか。

毎年5月に、防災管理対象物の災害対策の健全性を確認する「防災管理点検」を行っています。

今日は、工事用仮設資材の転倒・落下・移動防止措置が確実に行われているか、災害時に避難の経路となる通路や階段に障害物が置かれていないかなどを確認しました。



協力会社の皆さんとともに仮設足場の固定状況を確認

業務を進めるうえで心がけていること、注意していることなどを教えてください。

まずは「火災を起こさないこと」が重要であることから、火災の元をできる限り取り除くことを心がけています。日常のパトロールでは「燃えやすいものが放置されていないか」に特に注意を払っています。

また、火災の被害を最小限に食い止めるための消火設備が有事の際に確実に動くよう、入念に点検を行っています。



二酸化炭素消火装置を入念に点検

最後に、再稼働への思いや今後の抱負などについて教えてください。

ひとたび発電所で火災が発生すれば、地域の皆さまに大変なご心配とご迷惑をおかけしてしまいます。再稼働に向けて「絶対に火災を起こさない」という決意をもって、ひとつひとつの業務を疎かにせず愚直に取り組んでいきます。

また、消防設備の点検・整備に関する高度な専門知識を身に着けるため、消防設備士の資格取得に挑戦したいです。

下北ジオパーク「北部海岸清掃」に参加しました

5月14日(土)、東通村の北部海岸(石持漁港付近)において、当社むつ営業所と下北ジオパーク推進協議会、東通村の共催による、下北ジオパーク「北部海岸清掃」が開催され、当発電所からは、所員家族6名を含む48名が参加しました。

この北部海岸清掃は今年で4回目の開催で、清掃前の海岸には漂着物やゴミがたくさんありましたが、総勢200名の参加者が汗をかきながら、多くのペットボトル、漁具、流木などを拾い集め、きれいな砂浜に戻すことができました。

私たちは、これからも下北の美しい自然の景観を守る活動に積極的に取り組むとともに、下北ジオパークを応援してまいります。



砂に埋もれたゴミを丁寧に拾う参加者



総勢200名の参加者が石持漁港に集結しました!

下北ジオパークについて一緒に学んでみませんか? ～東通原子力発電所主催「地域を知る活動」のご案内～

当発電所では、「東北電力あがさいホール」のオープンを契機に「地域を知る活動」と銘打って、東通村の気候・風土・歴史等を楽しく学べるワークショップを開講しました。

その第1弾企画として、5月～7月は「東通村の下北ジオパーク」をテーマに、講義やフィールドワークを行っています。最終回となる第3回は、北部海岸ジオサイトの現地見学会を開催します。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第3回「地域を知る活動～下北ジオパーク編～」

1. 日時 7月3日(日) 9:00～12:00 (雨天決行)
2. 場所 東通村北部海岸(当社手配のバスで移動します。)
3. 講師 東通村観光協会 会長 氣仙 修 氏
4. 募集人員 20名(先着順)
5. 参加費 無料
6. 集合場所 東北電力あがさいホール
(東通原子力発電所 立地地域事務所内)

◆参加申込・お問い合わせ先◆

TEL0175-27-3431(受付時間 平日 9:00～17:00)

右記QRコードからもお申込みできます →



6/5に開催した第2回ワークショップの様子(尻労地区ジオサイト)

